

# 「知らない業者から商品が送られてきたら」

～昆布やカニの送りつけ商法に注意！～

消費者ホットライン  
188 (嫌や!泣き寝入り)

お問い合わせ 消費生活センター (平日) 午前9時～午後4時

☎57-8143

突然、知らない業者から「昆布を無料で送る」「注文されているカニを送る」という電話があり、心配だという相談が寄せられています。  
不安を感じたり対応に困ったときは、相手に連絡する前に消費生活センターへ相談してください。

## 【相談事例】

キャンペーンで昆布を送っているという業者から電話があった。ついでにカニやほかの海産物を勧められた。断ったが、実際に送られてきたらどうしたらよいか。

## 【アドバイス】

- 事例のほかに「認知症の父宛に何度もカニが送られてきて、そのたびに支払をしている」「取引をしたことがある業者と勘違いさせられ強引に契約を迫られた」などといったケースもあります。
- 勧誘されても必要がなければきっぱりと断りましょう。
- 承諾していないのに一方的に商品が送りつけられてきても、支払の義務はなく受け取る必要ありません。万が一商品が届いた場合は、宅配業者に経緯を伝え受け取りを拒否しましょう。



## 首都圏情報コーナー

### 佐渡を世界遺産にする首都圏の会

#### 総会・講演会が開催されました

11月26日(日)、東京駅八重洲口のビジョンセンター東京で総会が開催され、90人を超える参加者の中で坂田会長は「今年の国内推薦の結果は残念な結果に終わったが、引き続き来年に向けて頑張っていきたい」と協力を要請しました。

今期の主な活動は、「広域的な活動をスローガンに首都圏在住の方々から佐渡遺産の魅力を知っていただき、関心を持っていただく活動でした。」

そのため、①昨年度実施して広報効果のあった「金の道ウオーク」の規模を拡大し実施する、②「エコー」はがき発行を首都圏以外に新潟県まで拡大して実施する、③修学旅行や旅行者などを対象に「出前授業」の実施に取り組むなどとなりました。首都圏の理事にとっては、かなりエネルギーを要する計画ですが、佐渡・新潟の会と力を合わせ、国内推薦を信じて頑張ることに なります。

総会に引き続き、市世界遺産推進課の宇佐美係長から「佐渡金銀山遺跡」調査研究から見えるもの」と題して講演があり、当日夜中に「一人で聴くにはもったいないくらい良い講演でした」とメールが届くほど、反響のある講演でした。

(文責：佐渡を世界遺産にする首都圏の会 事務局)



坂田正通会長のあいさつ

## 編集後記

まだまだ寒い日が続く、また、インフルエンザなど感染症が心配されます。

手洗いやマスクの着用など予防に努めることはもちろんですが、適度な運動を心掛けて元気に過ごしたいと思っています。

冬は運動不足になりがちですが、平スキー場に行って楽しめたらなとコタツの中で思っています。

(T.S)

